



「ほっとルーム」だより

第196号 令和6年12月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

串木野小学校で教育講演会に参加しました

演題:「健康被害とメディアの危険な関係」

講師:戸高 成人先生

ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会

子どものネットリスク教育研究会 副代表兼鹿児島県支部長



11月1日(金)、串木野小学校の教育講演会に参加しました。今回は、5・6年生と保護者に向けて、上記の演題で開催されました。

講演では、メディアの長時間利用により引き起こされる生活リズムの乱れや脳の発達障害、それに伴う集中力の低下が引き起こす学力低下の問題との相関関係が、世界的な脳科学研究の前進により明らかになったと話されました。また、LINE等のSNSに関して、それらを用いた「ながら勉強」による学力低下やコミュニケーション能力の低下についてもお話がありました。

《支援員の感想》



「デジタルでは追い越せないアナログがある。アナログ最強!」という先生のお言葉が印象的でした。嗅覚や味覚、触覚など、デジタルでは感じるることのできない感覚があることに改めて気付きました。アナログを大切にしたい気持ち忘れず、子どもたちにも伝えていきたいと思います。

文字だけではコミュニケーション能力は養われないという、直接会話することの大切さを感じました。メディアに触れる時間よりも読書の時間を増やすことで、脳神経回路の発達の遅れを防ぐことができると聞き、読書習慣の大切さも改めて感じました。



私たちは、多くの場面でスマホを使っています。撮った動画を観たり、家事で手が離せない時、子どもにスマホで動画を見せたりと、毎日子育てでも活用しています。とても便利ですが、使い方によっては、親子の触れ合いや読書時間が少なくなり、生活習慣の乱れによって、脳の発達にも悪影響を及ぼし、学力の低下につながると感じました。

今後も、スマホやネットについて、ほっとルームだよりで繰り返し情報提供していきたいと思いました。

~ほっとルーム~
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



日時：12月5日（木）
15:15～16:30



照島小学校では、左記の日程で出前サロン「おあしす」を開設します。

PTAの前後や空き時間に、飲み物を飲みながら、少しおしゃべりして行きませんか。保護者どうしの憩いの場としてご利用していただいても構いません。おひとりでもお友だちとご一緒にでも、どうぞお気軽にお越しください。

串木野小学校で出前サロン「おあしす」を開設しました

11月1日（金）、「地域が育むかごしまの教育県民週間」に伴う学校自由参観に合わせて、串木野小学校で出前サロン「おあしす」を開設しました。参観を終えた保護者や地域の方々がお立ち寄りくださいました。

飲み物を飲みながら互いに談笑される中で、子どもさんの成長を喜びながらも、保護者の皆さんが日々支え見守り、時に悩まれておられる様子が垣間見えました。また、地域の方々の温かい見守りを感じることもできました。

ご来室いただいた皆さま、ありがとうございました。



子育て アドバイス

苦しみを抱えた子どもたちにとっての居場所とは、
物理的空間だけを意味するものではありません。
それは理解しようとする人がいるところであり、
自分の心が前に向かって動き出すまで
待ってくれる人がいるところであり、
そして自分が自分のままでいて
安心できるところでもあります。
わが家が子どもにとっての居場所になった時、
子どもは苦しみを確実に乗り越え、
やがて地域の中に居場所を求めて動き出すのです。



広木 克行著「親と子の絆を深め合う道程」より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574
☎099-294-2200※携帯電話からはこちら
24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310
PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309